

ズボンよりみがきにしんを友にだす
身欠鯨

『中止観』（昭和四六）所収。「遠近に友く
いちぎるほしにしん」も同句集にある。浩
司のなかで、みがきにしんは友と結びつ
いているようだ。友を憐むのか、友に優越感
を示そうとするのか、それとも配下となる
ことを示すのか。わからないが、それも魅
力である。生で齧るのだろう。ズボンもテ
カテカ光っているのだろう。『阿父学』（昭
和四九）の「二階より地のひるがおを吹く
友や」も忘れがたい。浩司は永田耕衣門。

【身欠鯨・夏】

「令和三年の澤の一句」鑑賞募集のお知らせ……………4

澤通信句会のお知らせ……………6

小澤 實 花の昼 十五句……………10

高橋睦郎 季語練習帖 第一四九回……………12

潺潺集 小澤 實選……………14

願はくは 赤岩 覺

馬の国 梶等太郎

三塔 高橋美穂子

半眼 水田晴子

侵攻 川上弘美

友 野口桐花

礼者 長谷川照子

颯の爪 汕としこ

酸素濃度値 大和寿美子

鯨の子 菱田嘉春

筈二枚 村田さやか

事故前科歴 周藤迪之相

枅 森下秋露

三口 結城あき

求愛韻 吉田邦幸

春埃 栗生

初桜 高橋球子

特集／相子智恵句集『呼応』を読む

天性の人／相子智恵『呼応』成田一子……………20

青空のさなかで耐えること 柳元佑太……………22

澤俳句鑑賞 264

福田若之……………24

森下秋露……………26

窓

俳書を読む

遠山陽子『遠山陽子俳句集成』／金田志津枝『花の雲』／

根岸善雄『潺潺』／榎木優子『忘れ水』／成田一子『トマ

トの花』加納 燕……………28

詩文学芸書を読む

宮内悠介『かくして彼女は宴で語る 明治耽美派推理
帖』根岸哲也……………30

総合誌俳句鑑賞

「俳句」「俳句界」「俳壇」「俳句四季」各三月号
今朝……………32

俳句結社誌を読む

「山繭」令和三年十一月号 梶等太郎……………34

通信句会の秀句 村越 敦……………36

潺湲集巻頭作家エッセイ 梶等太郎……………38

澤集巻頭作家エッセイ 山口刃心……………39

同人代表句 仲 白良／石見光夫……………40

同人一句鑑賞 赤岩 覺／清水ましろ……………41

澤衍……………42

澤四十句 小澤 實選……………44

選後独言 本歌取りへの挑戦 小澤 實……………46

澤集 小澤 實選……………48

山下希記／喜心／佐藤涼子／おきのきらら／夜森くみん／
鈴木桃子／山本肯三／千葉典子／大室ゆらぎ／青沼まみ／
上林七葉／馬場尚美／新村秀人

消息……………81

新入会員／

「俳句を豊かにするもの」原稿募集のお知らせ……………82

4月号発送報告／定例句会ご案内……………83

澤俳句叢書一覧……………85

雑誌「澤」購読のご案内／購読料更新のお知らせ／

澤基金募集のお願い……………86

澤基金応募者芳名／投句のご案内……………87

澤句会・カルチャー一覧……………88

広告……………89 後記……………94

デザイン||玉井一平

澤
令和4年5月1日発行
澤 俳句会
頒価 1,200円

表紙／小澤
實著『秀句三五〇選友』より